

(様式1)

令和6年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

				<table><tr><td>学校整理番号</td><td>24</td></tr><tr><td>学 校 名</td><td>青森県立三沢高等学校</td></tr><tr><td>全日制の課程</td><td></td></tr></table>		学校整理番号	24	学 校 名	青森県立三沢高等学校	全日制の課程	
学校整理番号	24										
学 校 名	青森県立三沢高等学校										
全日制の課程											
<table><tr><td>(1) 学校教育目標</td><td>1 自主・自律の精神を涵養し、自らの将来を切り拓くことができる生徒の育成 2 自他を敬愛し、社会規範を見に付け、多様な人々と協働できる生徒の育成 3 郷土の文化や伝統を育み、心身ともに健全である生徒の育成</td></tr></table>				(1) 学校教育目標	1 自主・自律の精神を涵養し、自らの将来を切り拓くことができる生徒の育成 2 自他を敬愛し、社会規範を見に付け、多様な人々と協働できる生徒の育成 3 郷土の文化や伝統を育み、心身ともに健全である生徒の育成						
(1) 学校教育目標	1 自主・自律の精神を涵養し、自らの将来を切り拓くことができる生徒の育成 2 自他を敬愛し、社会規範を見に付け、多様な人々と協働できる生徒の育成 3 郷土の文化や伝統を育み、心身ともに健全である生徒の育成										
<table><tr><td>(2) 現状と課題</td><td>本校は、進学率が70%を超えてきており、地域を代表する進学校である。総合型選抜・学校推薦型選抜に毎年多く出願し、全教員体制で面接・小論文指導を行い、生徒の進路目標達成に取り組んでいる。今後は、ICT活用による授業の実践、主体性・協働性を培う「考える」授業の研究や、魅力ある学校の創造のために「モスプロジェクト」を中心とした探究活動の一層の充実が課題である。</td></tr></table>				(2) 現状と課題	本校は、進学率が70%を超えてきており、地域を代表する進学校である。総合型選抜・学校推薦型選抜に毎年多く出願し、全教員体制で面接・小論文指導を行い、生徒の進路目標達成に取り組んでいる。今後は、ICT活用による授業の実践、主体性・協働性を培う「考える」授業の研究や、魅力ある学校の創造のために「モスプロジェクト」を中心とした探究活動の一層の充実が課題である。	<table><tr><td>自己評価実施日</td><td>令和7年2月 6日(木)</td></tr><tr><td>学校関係者評価実施日</td><td>令和7年2月14日(金)</td></tr></table>		自己評価実施日	令和7年2月 6日(木)	学校関係者評価実施日	令和7年2月14日(金)
(2) 現状と課題	本校は、進学率が70%を超えてきており、地域を代表する進学校である。総合型選抜・学校推薦型選抜に毎年多く出願し、全教員体制で面接・小論文指導を行い、生徒の進路目標達成に取り組んでいる。今後は、ICT活用による授業の実践、主体性・協働性を培う「考える」授業の研究や、魅力ある学校の創造のために「モスプロジェクト」を中心とした探究活動の一層の充実が課題である。										
自己評価実施日	令和7年2月 6日(木)										
学校関係者評価実施日	令和7年2月14日(金)										
<table><tr><td rowspan="4">(3) 重点目標</td><td>1 生徒の資質・能力を育む学習指導【知の支援】</td></tr><tr><td>2 生徒の個性を踏まえた生徒指導・教育相談の実践【心の支援】</td></tr><tr><td>3 生徒の進路実現を支えるキャリア教育の充実【夢の支援】</td></tr><tr><td>4 魅力ある学校の創造</td></tr></table>				(3) 重点目標	1 生徒の資質・能力を育む学習指導【知の支援】	2 生徒の個性を踏まえた生徒指導・教育相談の実践【心の支援】	3 生徒の進路実現を支えるキャリア教育の充実【夢の支援】	4 魅力ある学校の創造			
(3) 重点目標	1 生徒の資質・能力を育む学習指導【知の支援】										
	2 生徒の個性を踏まえた生徒指導・教育相談の実践【心の支援】										
	3 生徒の進路実現を支えるキャリア教育の充実【夢の支援】										
	4 魅力ある学校の創造										
<table><tr><td>(4) 結果の公表</td><td>学校ホームページに学校評価の結果を掲載し公表する。</td></tr></table>				(4) 結果の公表	学校ホームページに学校評価の結果を掲載し公表する。						
(4) 結果の公表	学校ホームページに学校評価の結果を掲載し公表する。										
自 己 評 価					学校関係者評価						
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策					
1	生徒の資質・能力を育む学習指導【知の支援】	ア 主体性・協働性を培う「考える」授業の確立 イ 学ぶ意欲を高める多様な学習評価の工夫	各教科でICT活用による授業、ペアワーク・グループワークが活発に取り入れられており、生徒の主体的活動が定着してきている。各教科による研究授業と互見授業の実施により、授業改善が促進された。	A	学力向上のため、生徒の学力状況を把握し授業を見直してみるのも一つの方法である。授業改善においてはICTの活用の促進とともに、教員のメンタルヘルスへの配慮も怠らないようにしてください。	よりよい教育活動の実践のため、観点別評価の見直しと考査の時期を含めた適切な学校行事の配置について検討をしていく。引き続き新課程入試の動向に対応する教育課程の編成のため、必要な情報を収集していく。ICTの教育環境を整備し、教員の研修機会を増やし指導力の向上を図る。					
2	生徒の個性を踏まえた生徒指導・教育相談の実践【心の支援】	ア 安心・安全に学校生活を送るための人間性・道徳性を高める指導 イ 生徒に寄り添う教育相談体制の確立と教職員間の情報提供	今年度は、生徒支援部の会議に各学年の担当者も出席してもらい情報共有に役立てることができた。これにより、SCやSSWとの連携が深まり、適切な時期を捉えた生徒支援を行うことができた。	A	学校生活を通して、挨拶など当たり前のことができる人間の育成を今後も続けてください。学校に関するアンケート等は、生徒や保護者との信頼関係を深めるために重要なことだ考える。その点でアンケートの内容から保護者から意見の出やすい雰囲気づくりがなされていると感じている。	今年度改訂した校則の内容について検討をし、見直しについては生徒・保護者・地域社会と連携していく。学校生活アンケートから人間関係の構築に不安をもつ様子がみられたので、情報収集と共有を行い早めの対応をしていく。生徒会を中心に学校行事を計画させ、全校で協力する場面を通して、生徒の人間性・道徳性を高める。					
3	生徒の進路実現を支えるキャリア教育の充実【夢の支援】	ア 「(目標を)諦めない、(努力を)怠らない」という意識の醸成 イ 社会的・職業的な自立(「10年後」の自分)に必要な資質・能力の育成 ウ 家庭・地域との密接な連携及び広報活動の充実	進路講演会や卒業生と語る会、合格者体験発表会等は、生徒の意欲喚起につながった。多様な進路希望に対応するための進路学習計画を作成し実行するための進路講演会・進路通信などを企画・発行して進路情報について提供を行った。	A	進路希望の達成が学校に対しての地域の評価が上がる要因となりますので、引き続き全校体制でのご指導をお願いします。	学年への進路指導支援、保護者への情報提供方法等の改善に取り組む。進路希望が多様化しているため、本校の実情にあわせ1年時から手だてを講じ3年間を見通した進路指導の充実を図る。					
4	魅力ある学校の創造	ア 柔軟で特色ある教育課程の編成及び総合的な探究の時間の系統性の確保 イ 教科指導力及び生徒理解力を高める教員研修の充実	教員、生徒、保護者対象のアンケートを基に本校の実態把握を行い、教育課程の編成に役立てることができた。モスプロジェクト発表会やモスサミットの開催によって家庭・地域に向けて積極的な情報発信を行った。	A	生徒、保護者に寄り添った学校教育活動を行ってほしい。	地域や地元自治体との連携を深めながら「モスプロジェクト」の充実を図る。今年度から取組んでいる高大連携事業をさらに推進させるために、運用面での改善を行っていく。読解力養成のための沢高タイムの充実、特色ある教育活動の外部への情報発信を継続して取組んでいく。					
(11) 総括		本校では、「知の支援、心の支援、夢の支援」を柱に、主体的・対話的な学習の実践により、生徒の学びを深めていくことを中心に取り組んでいる。多くの教員が授業にペアワークやグループワークを意識的に取り入れており、さらに授業改善の手段としてICT機器の活用にも校内研修を含め、継続して取り組んでいきたい。今年度はすべての学校行事について見直しを行い、学習活動と部活動を感染症拡大時期以前の状態に戻して実施してきた。学校評議員からは、学校が組織として動くための教職員間の連携、保護者への情報提供と保護者からの意見が出やすい雰囲気づくりについて評価と助言がされた。現在、取り組んでいることに自信を持ち、学校の強みをアピールしながら教育活動を行っていきたい。									